

平成22年度 連盟主催競技会・上部団体代表選手選出方法の主な変更点について

社団法人京都府ボウリング連盟

JBC主催大会参加の為の公認ゲーム消化について

公認ゲーム消化が不足する会員の為、下記の施策を実施します。

- ・ 予選実施時期の繰上（予選通過後、不足分を消化する時期を持たせる為）
- ・ 各種大会合同練習会（結団式）に不足会員を参加可能とし、記録会を実施する。
年間26回開催、3ゲーム又は6ゲームを投球（ゲーム代＋公認料）

予選会を兼ねる競技会の増加

競技日程過密や予選会参加人数が少なく全員通過の予選会もある為、下記の予選を既存大会と兼ねて行います。また大会に昇格して行います。

全日本シニア選手権予選	（春季・京都府シニアオープン競技大会）	単独予選会廃止
関西シニア選手権予選	（夏季・京都府シニアオープン競技大会）	予選大会変更
西日本シニア予選（新規大会）	（秋季・京都府シニアオープン競技大会）	
関西クラブ対抗予選	（京都府3人チーム競技大会）	単独予選会廃止・大会昇格

予選通過後の参加辞退者の取り扱いについて

個人予選を行う下記の大会について、予選通過者が本大会を欠場する場合は、いかなる理由があっても次年度の同競技の予選参加資格を喪失します。

全日本選手権大会 ・ 国民体育大会 ・ 日本スポーツマスターズ

チーム予選のみ実施の予選に個人予選を実施

関西選手権、西日本選手権、全日本シニア選手権は、チーム単位の予選のみを実施していましたが、個人予選を並列して実施します。

○関西選手権・西日本選手権などの場合

個人でエントリーした選手については、予選会の個人得点の上位から4人ずつをチーム（メイクA・B等）として編成し、その合計得点をチームの点数とする。

チーム単位（4人）での参加チームの合計得点と同列に扱い、チーム合計得点の上位から選出する。端数（1～3人）となった場合は落選します。

上記方法は、チーム予選を行う下記の大会で実施します。

- ・ 関西選手権大会（4人）
- ・ 西日本選手権大会（4人）
- ・ 全日本シニア選手権大会（2人）
- ・ 西日本シニア競技大会（2人） ※22年度新設
- ・ 関西シニア選手権大会（2人）

○都道府県対抗の場合

男女ペアのみでの申込も可とし、京都府ミックスダブルスの得点上位から2チームずつをチームとして編成し、その合計得点をチームの点数とする。4人チーム単位での参加チームの合計得点と同列に扱い、チーム合計得点の上位から選出する。

予選通過チームの選手変更について

本大会参加の際に、都合で予選参加選手が出場できない場合の選手変更について下記のとおり取り扱います。

- ・ 予め参加申込時に補欠登録した場合は、その補欠選手と変更可能とします。
- ・ 補欠登録していない場合は、個人予選の落選者上位から補充します。

上記は、下記予選に適用します。

- ・ 関西選手権大会（4人）
- ・ 西日本選手権大会（4人）
- ・ 全日本シニア選手権大会（2人）
- ・ 西日本シニア競技大会（2人） ※22年度新設
- ・ 関西シニア選手権大会（2人）

本大会優勝者シードについて

個人競技の大会のみ次年度の競技にシードされる。

全日本年齢別選手権大会、関西年齢別選手権大会、全日本中学選手権大会、全日本高校選手権大会

中間年齢層（18～49歳）対象大会の新設

中間年齢層対象の大会が従来なかった為、新設します。競技内容は今後検討します。

実施日 8月22日（日） しょうざんボウル

主催大会競技時間の見直し

競技時間を再検討し、大会日程表より遅延しない時間配分とします。

京都府選手権は、土曜日午前中から開催し、従来日曜日に行っていた6人チーム戦の一部を土曜日に実施し、日曜日の終了時間を繰り上げます。それに伴い、各チーム全競技種目同一シフトとなります。（3人がAシフトなら、2人、6人もAシフトとなる）

当日シフト・レーン抽選の実施

一部の大会について試験的に、当日受付時にシフト・レーン抽選を行います。

京都府マスターズ競技大会

KBFイヤリーチャンピオンシップ

京都府選抜選手権大会

※ 全ての大会において参加選手の欠場が出た場合は、競技委員会で補充選手選考を行う場合があります。